

ケブカコフキコガネの奄美大島からの記録

佐藤正孝

Masataka SATÔ: Record of *Tricholontha papagena* NOMURA
from Is. Amami-Ôshima, the Ryukyus

Abstract *Tricholontha papagena* NOMURA is newly recorded from Is. Amami-Ôshima. It was collected by Dr. S.-I. UÉNO and Mr. S. SAITO at Kinsakubaru (1♂) and Yuwan (4♂♂), respectively, on March 13, 1988.

ケブカコフキコガネ *Tricholontha papagena* NOMURA, 1952 は、眼が大きく、雄の触角葉片部がいちじるしく長いことにより、この類のなかではいちじるしく異なる新属新種として、沖縄からの1雄に基づいて記載されたものである。その後、黒沢 (1984) は、徳之島から1雄を記録した。基産地の沖縄でも、その後あまり記録がないようである。この春、奄美大島を訪れた際、同行の上野俊一博士および斉藤秀生氏がこの種を採集され、標本を検査する機会を得たので、ここに記録しておきたい。

4♂♂, 湯湾, 13. III. 1988 (灯火), 斉藤秀生採集

1♂, 金作原, 13. III. 1988 (高さ 2.5 m ぐらいの樹枝上に静止), 上野俊一採集

このように記録の少ない理由は、原記載に用いられた標本こそ8月に得られたものの、その後の記録がすべて3-4月になっていて、出現期が早いことによるものだろう。

亜種の問題については、黒沢 (1984) が指摘しているように、これまでに得られている標本も少ないので、ここではこの種が奄美大島で採集されたことのみを報告しておきたい。

末筆ながら、標本を検査する機会を与えられた上野俊一博士と斉藤秀生氏のご好意に厚くお礼を申し上げる。

参 考 文 献

- 小林裕和, 1982. 日本産コフキコガネ族概説 (3). 甲虫ニュース, (60): 1-4.
黒沢良彦, 1984. 徳之島のケブカコフキコガネ. 甲虫ニュース, (66): 4.
野村 鎮, 1952. 日本及びその近傍のコフキコガネに就いて. 桐朋学報, (2): 24-34, 3 pls.